

■ 学校の共通目標

|              |                |   |                            |  |                            |  |
|--------------|----------------|---|----------------------------|--|----------------------------|--|
| <b>授業づくり</b> | <b>重<br/>点</b> | 児童が自ら課題を見つけ、自ら追究し、自ら表現する学習活動に重点を置いた指導を行う。 | <b>中<br/>間<br/>評<br/>価</b> |  | <b>最<br/>終<br/>評<br/>価</b> |  |
| <b>環境づくり</b> |                | 道徳を柱として、思いやりの心を育む学級・教科経営を行う。              |                            |  |                            |  |

■ 学年の取組み内容

| 学年 | 教科 | 学習状況の分析 (10月)   | 課 題 (10月)   | 改善のための取組み (10月)   | 最終評価 (2月)          |           |
|----|----|---|---|---|--------------------|-----------|
| 1  | 国語 |   |   |   |                    |           |
|    | 算数 |   |   |   |                    |           |
| 学年 | 教科 | 学習状況の分析 (4月)  | 課 題 (4月)  | 改善のための取組み (4月)  | 中間評価・追加する取組み (10月) | 最終評価 (2月) |
| 2  | 国語 | 学ひらがなの読み書きはほとんどの児童が習得している。カタカナや漢字の読み書きの理解が十分でない児童がおり、文章の中で適切に使えていない様子が見られる。   | ・カタカナや漢字については、書くのが十分でない児童がおり、文や文章の中で適切に使用することに課題がある。<br>・文章を書く経験が少なく、文章を読み返す習慣が十分に身に付いていない。     | ・カタカナや漢字を使って、文や文章を書く場面を意図的に設定する。学習の中で、全体で学習内容を確認をする。<br>・書くことの学習の中で、文や文章の書き方の指導をする。つながりを意識して文章を書く学習を日常の授業の中へ計画的に位置付ける。          |                    |           |
|    | 算数 | 学10以内の加法減法については、ほとんどの児童が理解できている。繰り上がりのある加法や繰り下がりのある減法について、理解が十分でない児童が見られる。  | ・繰り下がりのある減法の計算の仕方について、理解が十分でなく一部の児童は操作や言葉等を用いて表現することに課題がある。                                     | ・授業の中で、半具体物を用いた操作活動を計画的に取り入れる。また、操作したことを言葉で表現する活動を重視し、授業に位置付ける。   |                    |           |
| 3  | 国語 | 学話すこと・聞くことが不十分なので、つながりのある文章を書いたり、順序良く話したりすることに、苦手意識がある児童が多い。<br>調伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項については全国平均を上回っており、良好である。                              | ・話すこと・聞くことの領域が区平均より、6ポイント下回っており大きな課題が見られる。  | ・話す活動については・伝える・報告する・説明する等具体的な生活の中で必要となる活動を取り上げ、目的意識をもたせた指導を進める。<br>・読む学習については、心情のわかる文や、段落の要点に注目させ、気持ちを考えさせる活動を多く取り入れる。          |                    |           |
|    | 算数 | 学かけ算の九九や乗法を用いた文章問題については、ほとんどの児童が理解し、習得できている。<br>学繰り上がりのある計算は、ほとんどの児童が理解できているが、繰り下がりのある計算は、理解が十分でない児童が見られる。<br>調数と計算は全国平均を上回っており、良好である。    | ・数学的な考え方については、全国平均より10ポイント上回ることができた。<br>・知識・理解については、区の平均より2ポイント低くなっており、観点別の結果の中で課題がみられる。        | ・東京ベーシックドリルについては、引き続きベーシックタイムで活用していく。<br>・アレイ図・数直線図等の立式のための根拠となる図の描き方を指導する。<br>・時計の学習において、既習事項の内容を確認するとともに、時間や時刻を求める活動を取り入れる。   |                    |           |
| 4  | 国語 | 調第3学年までの配当の漢字を読むことに関しては概ねできているが、書くことにおいて全国平均を下回った。文章を書く際にも使えないことがよくある。<br>学物語文や説明文において、概ねすべての児童が登場人物の心情や文章の内容を読み取ることができていた。               | ・第3学年までの配当漢字を書いたり、それを文の中に取り用いたりすることにおいて課題が見られる。<br>・話すこと・聞くことにおいて、インタビューの内容を聞き、理解することに関して課題がある。 | ・小テストやフラッシュカードを定期的に行い、繰り返し取り組むことで定着を図る。また、日常のノート指導や文章を書く際に、適切に漢字を使えるよう指導をする。<br>・全校朝会の講話内容を、毎回まとめ、自分の考えを書く活動を通して、話を聞き理解する力を伸ばす。 |                    |           |
|    | 算数 | 調たし算、ひき算、かけ算の筆算においては、ほぼ全ての児童が正しく計算することができているが、わり算において全国平均を下回り、課題が見られた。<br>調時刻と時間において、目的地に着く時刻を求める問題の理解が不十分であった。                           | ・わり算において課題がある。<br>・時刻と時間において、目的地に着く時刻を求める問題において課題が見られる。   | ・東京ベーシックドリルやフラッシュカードを活用することで、定着を図る。また、わり算の筆算の単元に入るに当たって、繰り返し計算練習に取り組む。<br>・時刻と時間の学習において、東京ベーシックドリルを活用し、既習事項の内容を確認し、習得を図る。       |                    |           |
| 5  | 国語 | 調作文に関しては、書くことに大きな抵抗がある児童は少ないが、書くことの領域では、全国平均をわずかに下回っている。<br>学漢字については、正確に書くという意識が低い児童が見られる。<br>調活用 の正答率は、全国平均を上回っている。また、記述の正答率もわずかに上回っている。 | ・目的や必要に応じて、要点を押さえて書く力に課題が見られる。<br>・漢字については、正確な知識の習得が課題である。                                      | ・作文メモを活用し、大事なことは何かを明確にし、要点を押さえた文章の書き方を意識して指導を行う。<br>・小テストを定期的に行い、繰り返し学習を進めていくことで、知識の習得を図っていく。                                   |                    |           |

|    |  |   |  |  |  |  |
|----|--|---|--|--|--|--|
|    | 算数   | <p>調 図形に関しては、苦手意識がある。全国平均を若干下回っている。</p> <p>調 基礎の正答率が、若干下回っており、正答率度数分布では、二極化が見られる。</p> <p>調 教科全体としては、全国平均に達している。数学的な考え方については、全国平均を上回っている。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題を理解し、図形の面積や長さを求める力に課題がある。</li> <li>・計算のきまりを使った計算が弱い。</li> <li>・3けた÷1けた(余りあり)のわり算の計算に課題が見られる。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・図を基に、何を聞かれているのかを押さえながら解いていく指導を意識していく。</li> <li>・計算のきまり、わり算については、既習内容を確認し、東京ベーシックドリル等を活用して、定着を図っていく。</li> </ul>                               |  |  |
| 6  | 国語   | <p>学 第5学年までの配当の漢字を読むことは概ねできているが、書くことは不十分であり、文章を書く際にも使えないことがよくある。</p> <p>学 物語文の読み取りでは、場面の描写や登場人物の様子を読み取ることが比較的できている。しかし、説明文の段落相互の関係読み取ることが不十分である。従って、2段落構成で文章を書くなど、指定された文字数で文章を書くことも苦手である。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5学年までの配当漢字を、書いたり作文の中に使ったりすることに課題がある。</li> <li>・段落を意識した読み取りや文章を書くことの理解が不十分である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5学年までの配当漢字の書き取り練習や小テストを実施する。また、作文や日記などの指導の際には、引き続き習った漢字は使うよう指導していく。</li> <li>・説明文を扱う単元では、段落相互の関係を意識させながら授業が展開できるように指導を計画し、進めていく。</li> </ul> |  |  |
|    | 算数   | <p>調 小数のかけ算、わり算では、小数倍の文章問題を解くための立式はできているが、計算の誤答が多い。</p> <p>調 合同な図形の対応する角度を求めたり、作図したりすることはできるが、立体の体積の求め方の理解が不十分である。</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・少数のかけ算、わり算の計算で、小数点の位置やわり算の筆算で見当をつけて答えを求めていくやり方の理解が不十分である。</li> <li>・複合的な立体の体積の求め方の理解が不十分である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算練習に取り組みさせることで、その都度、計算の仕方の復習をさせていく。</li> <li>・立方体と直方体の公式を確認し、それらを工夫して体積の求め方を練習させる。</li> </ul>   |  |  |
| 音楽 | <p>学 どの学年も進んで音楽活動に取り組める児童が多い。</p> <p>学 歌唱…発達段階に応じた発声で歌っている。第1・2学年は、のびのびとした子供らしい歌声、第3学年以上は、頭声的な発声を取り入れながら響く歌声を目指しているが、まだ十分でない。</p> <p>学 器楽…技能面に個人差がある。音色を意識して演奏することが十分でない。</p> <p>学 音楽づくり…グループで創作活動することには、進んで取り組める児童が多い。</p> <p>学 鑑賞…楽しんで鑑賞をしている。共通事項などを手掛かりとすると聴き取ろうとしている。</p> | <p>歌唱…曲の雰囲気や特徴に合わせて歌い方の工夫をすることがまだ十分でない。</p> <p>器楽…第1・2学年の鍵盤ハモカ、第3学年以上のリコーダーともに個人差がある。技能を身に付けたうえでより良い音や演奏にむけての工夫がまだ十分でない。</p> <p>音楽づくり…音楽のしくみや構成などを考えて音楽をつくることはできていない。</p> <p>鑑賞…共通事項を手掛かりとして、聴き取ることはできるが、楽曲全体を味わって聴くということまでは至っていない児童が多い。言葉での表現が難しい。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・思いをもてるようにするために、曲の雰囲気や特徴に気付き、感じ取らせるような言葉かけの工夫をする。</li> <li>・個人練習の時間をとり、一人一人の到達状況を把握して支援する。目指す演奏についてイメージがもてるように言葉かけをするとともにそこに近付けたと実感できるようにする。</li> <li>・音楽のかたちや共通事項などいつでも視覚的に確認できるように教室に掲示する。</li> <li>・鑑賞カードや付箋での記述の際に、聴き取ったことと感じ取ったことを分けて提示するようにする。言葉での表現がしやすいように音楽の言葉のバリエーションを増やす。</li> </ul> |  |  |  |
| 図工 | <p>学 見たこと、表したいことを立体や工作に表すことは、進んで活動に取り組める児童が多い。</p> <p>学 基本的な道具の使い方を、習得できている。</p>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたこと、想像したことなどの抽象的な物事を絵や立体に表すことを苦手とする児童が多い。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・参考となる画像を見せて、想像をふくらませたり、アイデアスケッチをしながら、考えを具体化していくようにし、作業に入るようする。</li> </ul>  |  |  |  |
| 特支 |  |   |  |  |  |  |

調…新宿区学力定着度調査の結果から見える学習状況

学…授業での様子や提出物、作品、ワークテスト等から見える学習の状況

※分量は2ページ以上となってもよい。